

ラーキエノを創る

埼玉県産業振興公社
循環経済支援グループリーダー
的場 啓祐

6

いた規格外の紅赤（さつまいも）と米麴を活かした「川越紅赤芋みつ」がある。この製品は県の研究機関である埼玉県産業技術総合センター北部研究所（以下、「北部研究所」）とセンターが連携し、製法等を北部研究所が開発し、製造・販売を行う各企業のマッチングをセンターが実施した。2024年2月から補助金」として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。

現在、国内外の経済進センター埼玉」（以下、「センター」）を設け、ワンストップな資源不足やカーボンニュートラルに対応するための、大量生産・大消費・大量廃棄型の線形経済からサーキュラーエコノミー（循環経済、以下CE）への移行が世界的に求められている。2024年7月末までに443件の相談を受け付けており、主に「（食品・金属・木材などの）端材や規格外品を再製品化したい」「自社製品に再生材を部と環境保全等を担う環境部が連携して取り組んでいる。企業の環境配慮の取組がCSRで終わるのではなく、企業が経済合理性を確保できるような支援し、

CEをビジネスチャンスに！

販売を開始し、昨年度の規格外品による初回製造分は完売している。県内のCE推進の取組と連携

埼玉県におけるCE推進の取組は、産業振興を所管する産業労働部と環境保全等を担う環境部が連携して取り組んでいる。企業の環境配慮の取組がCSRで終わるのではなく、企業が経済合理性を確保できるような支援し、

また、県では2024年度から複数の補助金を新設し、財政面からの支援を強化している。例えば、「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」や「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」など、補助金として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。

埼玉県では環境と経済を両立するため、資源の効率的・循環的利用を図るCEへの転換を推進している。2023年6月には埼玉県産業振興公社に「サーキュラーエコノミー推進、今まで廃棄されてきた規格外の紅赤（さつまいも）と米麴を活かした「川越紅赤芋みつ」がある。この製品は県の研究機関である埼玉県産業技術総合センター北部研究所（以下、「北部研究所」）とセンターが連携し、製法等を北部研究所が開発し、製造・販売を行う各企業のマッチングをセンターが実施した。2024年2月から補助金」として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。

また、県では2024年度から複数の補助金を新設し、財政面からの支援を強化している。例えば、「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」や「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」など、補助金として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。

また、県では2024年度から複数の補助金を新設し、財政面からの支援を強化している。例えば、「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」や「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」など、補助金として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。

また、県では2024年度から複数の補助金を新設し、財政面からの支援を強化している。例えば、「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」や「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」など、補助金として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。

また、県では2024年度から複数の補助金を新設し、財政面からの支援を強化している。例えば、「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」や「サーキュラーデザインリーダーモデル構築支援」など、補助金として、資源プサイクル、バイオマース発電などに取り組みための新たな設備やシステムの導入等を支援する補助金（上限200万円）を新設した。具体的補助事業として、マレリ株式会社における自動車用内装部品の単一素材化・リサイクル材活用の取組は1社で完結する「XPO」において特設する研究会を新設し、10月に第1回となる研究会を開催する予定である。同研究会に参加する企業向けの試作品開発に対する補助金なども設けており、具体的な補助事業として、株式会社ルルメーカと和光市の協働による「食」と食に関する衣料品のリユース・リサイクル推進の取組やケイワート・サイエンス株式会社の未利用コマもみ殻の高度利用技術の開発などの事業がある。



CEに関心ある企業が参加する研究会を開催

水きよみ氏に